

学校での突然死ゼロを目指して

～ 小学校からの教諭による救命教育の推進 ～

【趣旨】学校における児童生徒死亡事故の死因の第一位は「突然死」です。

文部科学省は「学校事故対応に関する指針（平成28年3月）」を作成し、心肺蘇生やAEDの積極的活用など学校の危機対応能力の向上を呼び掛けています。また、令和3・4年度から実施している中・高等学校の新学習指導要領では、生徒が胸骨圧迫やAEDの使用など一次救命処置を身に付けることができるよう実習を通して指導することが明記されました。

さいたま市では、平成23年9月駅伝練習中に突然倒れ亡くなった桐田明日香さんの事故を踏まえ「体育活動時等における事故対応テキスト～ASUKAモデル～」を作成し、小学校からの一貫した救命教育を推進しています。さいたま市のように小学校から取り組む自治体は全国に広がり、児童生徒の活躍で家族や市民の命が救われる事例も確実に増えています。

フォーラム第1部では、教諭による救命教育（心肺蘇生やAEDの活用）の公開授業を行い、第2部では医師等医療・救急関係者、学校や教育委員会、文部科学省等教育関係者、保護者などによるシンポジウムを通して、「学校での突然死ゼロ」を目指す取り組みを探求します。

2025年2月7日(金) 13:00～16:00

三重大学教育学部附属小学校

三重県津市観音寺町359

※ 電車をご利用の方：津駅西口より徒歩17分

※ お車をご利用の方：会場敷地内の駐車場をご利用ください。
(右図 P1またはP2、100台まで可能)



参加無料

事前申込 要

主催 日本AED財団、三重大学教育学部附属小学校、
三重大学医学部附属病院 高度救命救急・総合集中治療センター

共催 日本臨床救急医学会、三重大学教育学部、三重大学医学部附属病院

後援 文部科学省、厚生労働省、総務省消防庁、日本医師会、日本赤十字社、全国学校安全教育研究会、
(予定)日本学校保健会、公益財団法人日本心臓財団、三重県教育委員会、津市教育委員会、四日市市教育委員会、
松阪市教育委員会、全国国立大学附属学校連盟、全国国立大学附属学校PTA連合会

※ フォーラムではメディアによる写真及び動画の撮影が行われる予定です。その際、ご来場の皆様が映り込む可能性がございます。予めご了承ください。
※ 会場内での録音・録画・写真撮影はご遠慮ください。



公益財団法人 日本AED財団

<http://aed-zaidan.jp/>

日本AED財団 第7回 Schoolフォーラム プログラム

13:00 Schoolフォーラム 開始 (12:30 受付開始)

第1部 13:15~14:00

救命教育の公開授業

三重大学教育学部附属小学校 5年A組

指導教諭 長井 直己

第2部 14:20~16:00

挨拶 三重大学教育学部 学部長 伊藤 信成

シンポジウム

座長 今井 寛

桑名市総合医療センター理事

前三重大学医学部附属病院 救命救急・総合集中治療センター長

「4年間の救命教育の歩みと、そこで学んだこと」

三重大学教育学部附属小学校 指導教諭 長井 直己、養護教諭 増田 尚美、児童代表6名

「人助けで自分もみんなも幸せに -三重子どもきゅうめいプロジェクトの思い-」

三重大学医学部附属病院 救命救急・総合集中治療センター 伊藤 亜紗実

「子どもたちの命を守るために～ASUKAモデルへの思い～」

ASUKAモデル関係者・桐田明日香さんのお母様 桐田 寿子

「子どもたちの命を守るために

～ASUKAモデルと小学校からの救命教育の推進～」

日本AED財団 理事、元さいたま市教育長 桐淵 博

「AEDの普及と市民による救命20年の歩み ～team ASUKAの未来～」

日本AED財団 専務理事 石見 拓

「子供の命を守るこれからの学校安全」

文部科学省総合教育政策局 男女共同参画共生社会学習・安全課

安全教育調査官 木下 史子

挨拶

三重大学医学部附属病院 高度救命救急・総合集中治療センター長
鈴木 圭

申し込み方法

右記QRコード、及び下記URLにある申込みフォームより、
お申込みをお願い致します。

申込みフォームQRコード

申込みフォームURL:<https://qr.paps.jp/LQrru>

申込み締切:2025年1月24日(定員 200名)

※ 定員になり次第締め切りとさせていただきます。



公益財団法人 日本AED財団

<http://aed-zaidan.jp/>